平成 28 年度 No. 3-34																					
担部局名教育委員会																					
第5次結城市総合計画実施計画策定及び行政評価シート 当課 名 指導課																					
_	部 係 名 指導係 署 記 入 考 및 東野(内線) 627																				
1		事業の概要	要		(a) <del>-</del>		- 114 4	'	. 7 - 1 - 1 - 1	⊥ <u> </u>	71 AVE 17		<u> </u>	入者						627	
	_	業種別	緥	続	(2)事			油のえ	いるさと体	本験技	受業推	進事	<b>美</b>						(3)事		В
											(0)	<del> 444</del>	_ /					慢	先度		
(4) 総合計画での位置づけ								(6) 事業主体				市									
1		業の区分								· \."\	(7) 予算・ 事業の性質					一般事業費(ソフト事業)					
		策コード							) ^	.° −ÿ゛)	財源等 会計区分 の種別 財源区分					一般会計 市単独					
									<i>1- 4</i> + 3	+ 41¢ /	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・						- <b>T</b>	1			
			3-5つちかわれた技術を継承する伝統産業の振興(伝統産業) ①伝統工芸の保存・伝承								王耒)					款		項		<b>目</b> 3	古光曲
	施策		<u> </u>												書上の				験授業		
			2体験学習の実施   開始 平成 25 年 4 月から							(8)事務分			타고攵스\		<b>美名称</b>	, , -	S算書 事務	15	9 N°-	ソーニャ	句単り
	v <del>j</del>		用妇 終了						から まで( カ年)			_	P场刀  拠法 <del>*</del>			日汇	争伤				
2	_	事業の目的		心内容		年	,	J & C		/	<b>7</b> +7	们	对处方	IJ							
		<del>P素の日</del> は 象 に れ			ਗ <i>ਾ</i> ਹਰ		行うσ	141)		(2)	かざ	オ次	(音)	رسل و آ	のようれ	たは能	ミニナマス	スの	171)		
( )		成市内の中			AIC XI		1J J0.	)/J')		_					//ひょう/  城市を					かた:	喜め
	小口っ	がいりんりのと	<del>7</del> 2 <del>4</del>	<b>T</b>							₩工多 5。	. Z +D V	· · · · · · ·	' <b>Ժ</b> ບ ՝ փE	179,111	****	, <i>,</i> _	- 7 6	り出し・た	። መፈነ	司はノ
10	) <u> </u>	切 (古兴	中郊	- ドの	トニた	- L	ち仁こ	int.	1)												
(2		段(事業 D着付け体																			
		け中散策、額																			
										(4)	<del></del>			<i>-</i> -> <i>t</i>	+ /u-+	- II)	- I »				
										(4) 事業開始のきっかけや他市の状況など (※ 1-(8) 東終分類が決定受託の提合は記入の必要なし)											
									(※ 1-(8)事務分類が法定受託の場合は記入の必要なし) (株様末の株金BもDD) 郷土番も真めるために、土本ユニュカな取組												
										結城市の特産品をPRし、郷土愛を高めるために、大変ユニークな取組である。また「結城紬」を中心として、小山市との交流を進めることは、両											
										市の将来にとっても、大変意義のあることである。											
15	) <del> </del>	業をとり	<b>ナ</b> ノロ	四性の2	ケル (-	<del>) + 스</del> :	四井主	<b>#</b> F		<b>が</b> ない	かま		<b>詳</b> △ ⁄	でませ	辛日	生 レコ	こわに	ಕುಕ <u>ಹ</u>	ナフかけ	<del></del>	
(5)		未なこり																ציו פ	והאס פ	וטוו	
		トヘー無ルン	人儿思	圧I〜豆型	XC1∪/2	・小口グ火	が国でで	וינגע	1290,	、1U-19	加生未	ひノが圧す	寸"无应	र।⊂च-	7900	ひと与り	んる。				
3		事業コス	<b>L</b>																		
S	• =		17	<b>₽</b> 4≢	中窓の	= <b>17</b> /#5		_													1
		行政評価 実施計画		天旗	内容の	<del>ј*1</del> Ш			検討	• 改善	善				<b>給</b> 計	● 改姜巾	内容を反	5吨			
	マモ	美加計画			宇結:	<b>変百 <i>(</i>:</b>	千円)	<u>ч</u>	初予算額	百 (ゴ	<u> </u>				計画額				1		
	J' <del>j</del>		業内容			<u>。</u> 27	<u>- 1137</u> 年度	_	28		<u>  」)</u> 		29	年度		30	年月			31	年度
	П	報償費			366			_					20	+12	۷	00	+10	×	`	<u> </u>	+/2
		無報順負 需用費·役務費			208																
		備品購入費						80			81										
		川川川州八多	₹				С				01										
	事業																				
1	費																				
_																					
事終																					
事		合計					CF	· 4			010										
事務事業費の	$\vdash$	国庫支出会	~	( <b>±</b> m)			65	04			818										
貧の		国 東 文 出 立 県 支 出 金	ΙŹ	(千円)				+										-			
コス		-		- 1				+										$\dashv$			
ス	_	地方債		(千円)				+										-			
1	財源	その他特別	上以源				<b>~</b>				010										
	///ぶ	一般財源		(千円)			65				818										
		合計		(千円)			65	4			818										
		補助・起饋	責制度:	名																	

## 4. 指標の検証(活動指標・成果指標)

		指標の名称		単位	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	
(1	)	動指標(実施した事業の内容)								
		に 結城紬着付け体験	目標値			15	15	15	15	
	指標	本口 夕久 本田 7日   1 寸 1 7   本 海央	実績(見込)値	ш	13	15				
	$\Box$	体験ボランティア活用	目標値	回		50	50	50	50	
		本級パランティア、古用	実績(見込)値	IJ	42	50				
(2) 成果指標(事業実施によるめざす姿の達成度)										
			目標値			450	450	450	450	
		着付け体験生徒数	実績(見込)値	人	450	450	450	450	450	
	指標		達成率		100.0 %	100.0 %				
	名		目標値			42	42	42	42	
		体験ボランティア	実績(見込)値	人	42	42	42	42	42	
			達成率		100.0 %	100.0 %				

# 5. 事業評価

(1)平成27年度の行政評価結果をうけて、平成27年度に取り組んだ改革改善点があれば記載してください。

関係諸団体との連絡を密に取り、各学校と調整してスムーズに体験活動ができるように工夫した。また, 小山市との交流を図った。

### (2) 項目別評価

(L) (X L) (33 t) (L)										
	評価項目	• 客	親的評価	理由						
必要性	必要性 事業の必要性 A 必要性は高い		必要性は高い	結城市の将来のためにも必要性は高い。						
妥当性	実施主体の 妥当性	В	どちらとも言えない	行政主導は否めないが学校との連携が必要である。						
女当住	手段の妥当性	А	妥当である	現在のところベストである。						
効率性	コスト効率 人員効率	В	どちらとも言えない	事業の向上のためにはコスト増は必要かもしれない。						
公平性	受益者の偏り	В	どちらとも言えない	中学生に偏る傾向が見られる。						
有効性	成果の向上	А	上がっている	郷土愛を高めるためには有効である。						
進捗度	事業の進捗	А	順調である	諸団体との協力体制が確立されており順調である。						

(3)総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください。

結城市の将来を担う子どもたちの郷土愛を培い、よりよい結城市をつくっていこうとする意欲を向上させるには大変有効であり、 この事業を継続できるよう学校と行政が連携していく必要がある。

### (4)対応策・提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか?

着心地体験は全ての中学2年生を対象として実施し、紬だけでなく多くの郷土産業に注目していきたい。また,今年度,小山市との交流を実施したが,改善の余地があると考える。紬を中心とした両市の交流策をさらに検討する必要がある。

#### 6. 事業の方向性判断

評価主体	28年度以降の事業の方向性	評価理由・根拠
(1)記入者評価 記入者が評価を行う	改善・改革しながら継続(成果向上・コスト維持又はコスト削減,成果維持・コスト維持又はコスト削減)	注)記入者は「5 事業証価」を記載するため、この爛け去記入で結構です
(2)一次評価 担当課長が評価を行う	改善・改革しながら継続(成果向上・コスト維持又はコスト削減,成果維持・コスト維持又はコスト削減)	結城市民としての郷土愛を育てることが目的であることを再確認させたい。また, 小山市との連携を密にしながら双方向性のある事業にしていきたい。
(3)最終評価		上記評価のとおり。
企画調整会議において		
評価を行う		